



No.3105

第3423回例会

平成27年1月14日

DISTRICT 2500

## OBIHIRO ROTARY CLUB

方針 歴史と伝統、新たなページへ

会長 合田 倫佳

2014-15年度国際ロータリーのテーマ ロータリーに輝きを



## ■会長報告

合田 倫佳 会長



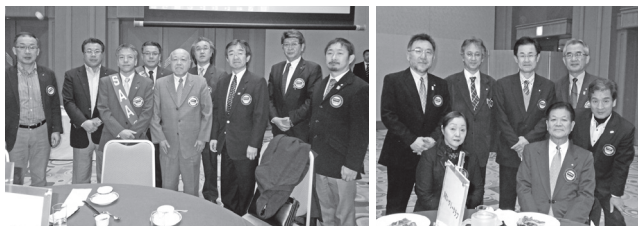
1月に入り今週で第3週目となりました。新年会などもまだ多いとは思いますが、正月気分もすっかり収まり、また新たな年の活動に励まれている会員皆様も多いことと思います。

本日の例会は、通常の例会とは若干異なり、音更ロータリークラブの皆様と合同例会の形を取らせていただくことを理事会にて決定させていただきました。今回のお話は音更ロータリークラブの白木会長から年度初めにご提案いただき、音更ロータリークラブの皆様にご参加いただくために理事会で方法を考え、実現したものです。

先週の例会時に合同例会のご報告ができなかったため、急ぎょ FAXにてご連絡を差し上げましたが、ご理解のほどよろしく願いいたします。

1月はロータリー理解推進月間です。会員にロータリーについて知識と理解を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の、一般市民にもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間であると、記載されています。

本日の例会では1つのトライアル(試行)として、音更ロータリークラブとの合同の例会開催により、自クラブや他クラブを見直し、知るチャンスを準備させていただきました。本日卓話をいただく小林会員におかれましては、若干通常とは異なった雰囲気の中でお話いただくことになるかもしれませんが、その体験、見識を十分にお話しいただければと思っています。



音更ロータリークラブのみなさん

## ■プログラム「会員卓話」

プログラム委員会

「中国雑感～留学生、外交官、駐在員から見た中国世界」



小林 一夫 会員

私は、香港中文大学留学、北京の日本大使館勤務、日銀香港事務所勤務の3回にわたり、中国と関わってきました。本日は、その経験を踏まえたお話をしたいと思います。

第一の話題は、宴会と乾杯です。「中国でビジネスを円滑に行うには、宴会を行うことが有効だ」と言われます。私自身の外交官や駐在員としての経験からも、それは事実で

出席  
報告

12月24日例会 会員総数89名(内免除会員6名)

メイクアップを含む出席者数 67名

欠席者22名

(名)

0

89

す。中国人と正式な宴会を行う場合、彼らには「割り勘」という概念がないので、まずどちらが勘定を持つのかを予め決めておく必要があります。また、日本側が主催者となる場合、場所や席順などについて、中国側の事務方と事前によく調整しておくことが重要です。

中国の宴会につきものの乾杯についてお話しします。正式の宴会では、①水、ジュース、ビールなど、②紹興酒、ワインなど度数10%台の酒、③マオタイ酒など度数の高い蒸留酒、の3種類が提供され、乾杯は主に③で行います。乾杯は文字通り一気に飲み干すのが基本ですが、予め「随意(スイイー)」と言っておけば飲み残しても構いません。また、主人や主賓は乾杯の回数が多くなりがちなので、飲めない人は自分の代わりに飲んでくれる代役を用意しておくといでしょう。

中国共産党について少しご紹介したいと思います。中国共産党の第一の特徴は、単なる政治集団ではなく、国家の上に立つ統治機構そのものである、ということです。中国の憲法は、「党が国家を指導する」ことを明記しており、常に重要政策は党が決定して政府に指示する「党高政低」です。

第二の特徴は、各界・各組織を網羅的に支配していることです。政・官・財界に止まらず、各界・各組織の幹部はみな共産党員であり、その人事権も共産党が握っています。

一方、第三の特徴として、共産党の看板は掲げているものの、イデオロギー色は希薄化しているということです。共産党一党独裁の下で、単に出世のために共産党に入党するオポチュニストも少なくありません。

第四に、地方トップ(直轄市・省・自治区党委書記)が出世コースだということです。江沢民以降の総書記はいずれも地方トップを経験している一方、閣僚経験はありません。共産党内の序列でも、地方トップは閣僚と同格かそれ以上です。

一方で、第一、第二の特徴にもかかわらず、共産党の統制は万全ではなく、むしろ「上に政策あれば下に対策あり」の言葉通り、地方が中央の方針をサボタージュするのは珍しくありません。前述のとおり、地方のステイタスが高い下で、中央の出先機関の長も地元党委のメンバーとして、地方トップの意向を尊重せざるを得ないからです。

結局、中国は法治国家というよりは党治国家、人治国家の色彩が濃いと言えるでしょう。

中国雑感  
～留学生・外交官・駐在員から見た中国世界～帯広ロータリークラブ会員卓話  
2015年1月14日  
小林 一夫

1. 中国とのかかわり
2. 中国世界への入口: 宴会と乾杯
3. 現代中国の主役: 共産党

